

(別添1)

講師ご略歴(登壇順)

山内 明 様

- ・(株)三井物産戦略研究所 技術・イノベーション情報部知的財産室長
- ・弁理士、AIPE 認定シニア知的財産アナリスト(講師)

大手メーカーにて精密機器開発に従事し、優秀発明賞(社長賞)を受賞。大手特許事務所勤務を経て知財ベンチャーに転身し、カーボンナノチューブの事業化支援(事業会社設立に貢献)やロボットスーツの知財権利化支援(21世紀発明賞受賞に貢献)等を担当。2006年以降、三井物産グループ向け知財コンサル部門を統括し、知的財産デューデリジェンス、知的財産価値評価、知財情報解析活用によるマーケティングやアライアンス支援等、攻守に亘る広範なサービスを提供している。知財経営に役立つ知財情報戦略(解析)をテーマとし、弁理士継続研修、知的財産アナリスト認定講座、大学院(MOT)講座等の講師を多数担当。

井上 貴夫 様

- ・(株)知財ランドスケープ 取締役 COO
- ・弁理士、AIPE 認定シニア知的財産アナリスト(特許)

日立製作所において携帯電話のCDMA基地局のハードウェア設計開発に従事し、その後、日産自動車 知的財産部において出願・権利化業務、他社権利調査業務等に従事する。2014年に伊藤特許事務所に入所。伊藤特許事務所の弁理士であり、株式会社知財ランドスケープの取締役 COO。IP ランドスケープ手法を用いた各種コンサルティングを通じて企業の経営戦略(事業戦略)をサポートする提案型業務に取り組んでいる。

菊地 修 様

- ・ナブテスコ(株) 理事、技術本部知的財産部長、ナブテスコR&Dセンター長
- ・AIPE 認定知的財産アナリスト(特許)

1981年、東京芝浦電気株式会社(現株式会社東芝)に入社し、社会インフラから情報システム、ソフトウェア、デジタルコンテンツ、ネットビジネス等の事業分野における知財戦略業務を担当すると共に、本社の知財法務責任者として知財訴訟や知財リスク管理を指導し、不正競争防止法や著作権法等の法改正に関与。その後、株式会社ACCESS知的財産部長を歴任した後、2012年、ナブテスコ株式会社に入社。会社のグランドビジョン実現に向けて、グローバルでの事業競争力強化と企業価値高揚を図る知財戦略経営体制を構築し、各事業における「コア価値」を「知的財産」と位置づけ、その獲得・強化を的確に実現する知財戦略を策定してナブテスコグループ全体で事業活動の一環として実行している。また2018年からはナブテスコR&Dセンター長も兼任し、先進的な技術開発とその知財戦略を一体的に活動を推進している。

以上